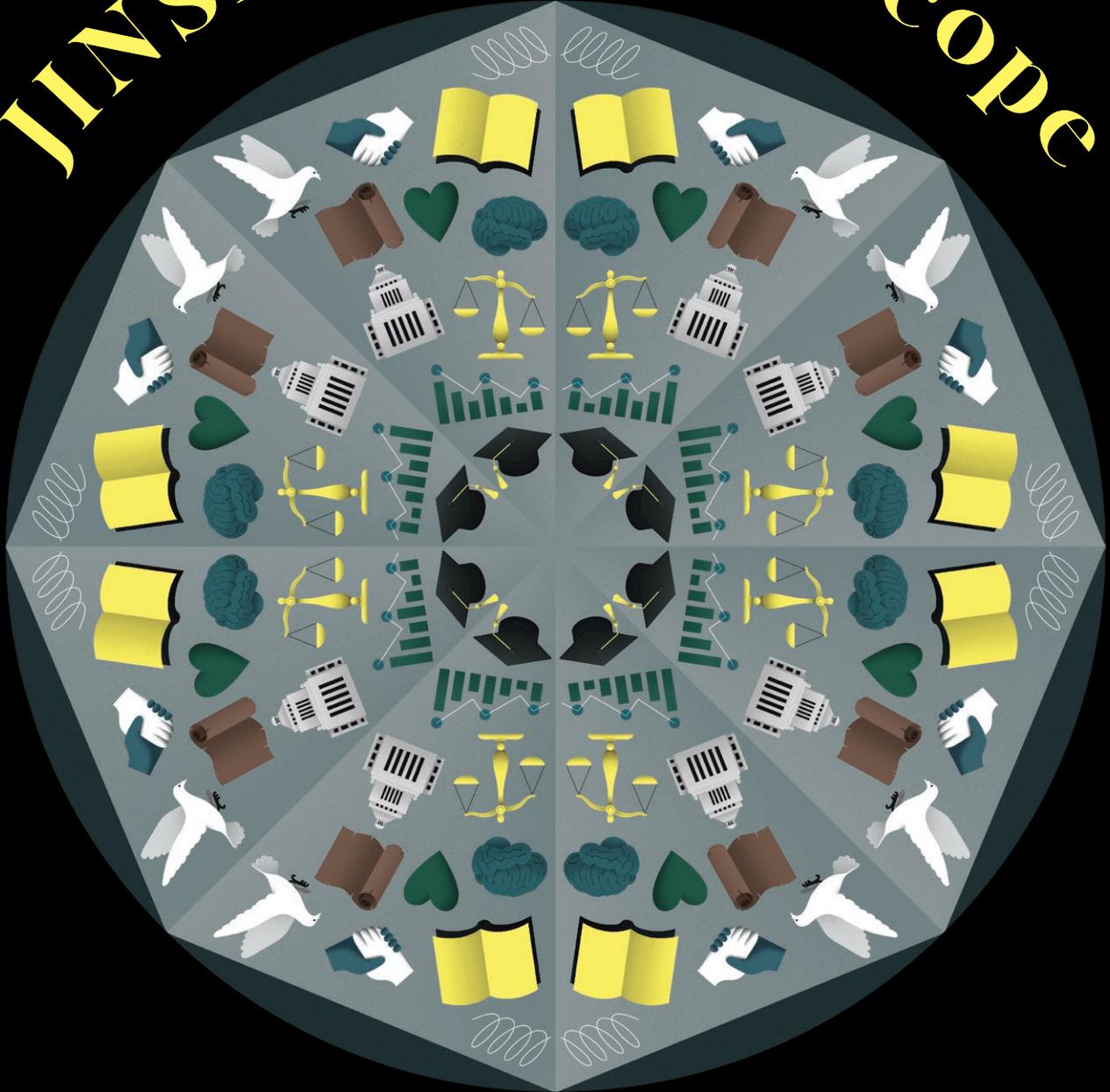


JINSHA kaleidoscope



人社系研究のコアバリューを引き出す研究支援のあり方とは

人文・社会科学系研究の持つ価値の形は、さながら万華鏡 — kaleidoscope — で見るように多様です。

それを引き出す研究支援はどうあるべきか、人文・社会科学系研究のコアバリューを引き出すアプローチを考える場になることを願っています。

JINSHA kaleidoscope — 人社系研究のコアバリューを引き出す研究支援のあり方とは —

3月7日(木) 鉄門記念講堂 (医学部教育研究棟14階) [ハイブリッド開催]

無料/定員200名(先着順)

- 13:30～ 開場・受付(オンライン開場は13:45)
- 14:00～14:05 開会挨拶：齊藤延人(東京大学理事・副学長)
- 14:05～14:15 文部科学省からの話題提供
- 14:15～14:35 講演「人社系研究のコアバリューを引き出すファンディングのあり方とは —RISTEXの経験から—」
小宮 泉(JST/RISTEX企画運営室 企画・SIPグループ 副調査役)
- 14:35～15:15 講演「人社系研究を伴走支援するアカデミック・インキュベーション」
岡田弘太郎(一般社団法人デザイロ代表理事)/柳澤田実(関西学院大学 神学部 准教授)
- 15:15～15:45 講演「社会に価値をもたらす知 —産学官連携から考える人社系研究—」
南 了太(京都精華大学 国際文化学部 准教授)
- 15:45～16:05 休憩
- 16:05～16:35 講演「人社系研究のコアバリューとは —対話の場から見えるもの—」
齋藤希史(東京大学 大学院人文社会系研究科 教授/東京大学 連携研究機構ヒューマニティーズセンター長)
- 16:35～17:25 パネルディスカッション「人社系研究のコアバリューを引き出すアプローチとは」
モデレーター：西村勇哉(株式会社エッセンス代表取締役/NPO 法人ミラック代表理事)
- 17:25～17:30 閉会挨拶：大橋 弘(東京大学副学長)

3月7日(木) [情報交換会] 医学部教育研究棟 13階 「カポペリカーノ」

参加費5,000円/定員80名

18:00～ 情報交換会

3月8日(金) 医学部図書館333会議室

無料/定員60名(先着順)

- 9:00～ 開場・受付
- 9:30～14:00 ワークショップ「ひみつの研究道具箱 JINSHA ver.」
途中、昼休憩あり
- ファシリテーター：松山桃世(東京大学 生産技術研究所 准教授)
- 「ひみつの研究道具箱」は東京大学生産技術研究所で研究開発中の最新技術がカードになったゲームです。市民と研究を共有し、ともに方策と可能性について考える、Responsible Research and Innovation(責任ある研究とイノベーション)のための科学コミュニケーションツールとして、松山研究室で開発されました。本ワークショップでは、このツールを使って、複雑な社会課題の前で人文・社会科学系研究の「知」と最新技術がどのようにコラボレーションし得るか、そのあり方を参加者で考えます。

登壇者



小宮 泉氏



岡田 弘太郎氏



柳澤田 実氏



南 了太氏



齋藤 希史氏



西村 勇哉氏



松山 桃世氏

主催：東京大学リサーチ・アドミニストレーター推進室

共催：東京大学 ヒューマニティーズセンター/大阪大学 経営企画オフィスURA部門/京都大学 学術研究展開センター/筑波大学 URA研究戦略推進室/琉球大学 研究推進機構研究企画室

早稲田大学 研究戦略センター/北海道大学 大学力強化推進本部研究推進ハブ統合URA研究マネジメントステーション/横浜国立大学 研究推進機構/中央大学 研究推進支援本部

広島大学 未来共創科学研究本部研究戦略部研究戦略推進部門/東北大学 研究推進・支援機構リサーチ・マネジメントセンター/新潟大学 経営戦略本部UA室/神戸大学 学術研究推進機構学術研究推進室

後援：株式会社エッセンス/一般社団法人デザイロ



「人文・社会科学系研究推進フォーラム」URA、研究者、事務職員、府省・資金配分機関担当者などが、ともに人文・社会科学系分野のよりよい研究推進のあり方を議論する場として、2014年より開催しています。フォーラムの企画・運営は、開催校を中心に、各大学の人社系担当URAの有志グループによって行われています。

お問い合わせ：東京大学リサーチ・アドミニストレーター推進室 ura-office.adm@gs.u-tokyo.ac.jp